2003 年度計算機言語 I 定期試験

- 1. 以下の問に答えよ。
 - (a) 次の式を評価した結果とその型を示せ。もし評価できない場合は、その理由を述べよ。
 - i. 1.0 = 2.0
 - ii. 11 div 2 mod 3
 - iii. 8/4
 - (b) 次の型に属する式の例を示せ。
 - i. char * bool list list
 - ii. (bool * int) * char
- 2. 次の関数を ML で実装せよ。
 - (a) リスト L の最初の要素と最後の要素からなるリストを返す関数 ends: 'a list \rightarrow 'a list。リストを逆順に並びかえる関数 reverse: 'a list \rightarrow 'a list を用いてよい。
 - (b) リストLの長さ (要素数) を求める関数 length: 'a list \rightarrow int。
 - (c) 次のデータ型の値として与えられる二分木の高さ (根から葉までの最長パス上に現れる節点数) を求める関数 height: 'label btree → int。

datatype 'label btree = Empty | Node of 'label * 'label btree * 'label btree;

- (d) リストのリスト L を引数にとり、埋め込まれた各リストの先頭の要素を集めたリストを返す関数 carlist: 'a list list \rightarrow 'a list。たとえば carlist([[1,2], nil, [3]]) = [1,3] となる。
- 3. 次の問いに答えよ。
 - (a) 次の関数の型を示し、その型がどのような推論を経て決定できるのか述べよ。

fun sumPairs(nil) = 0 | sumPairs((x,y)::xs) = x + y + sumPairs(xs);

(b) リストL を引数に取り、述語 (bool 型の値を返す関数)p が true になる要素が含まれているかどうかを判定する高階関数 exists: ('a \rightarrow bool) * 'a list \rightarrow bool。たとえば exists((fn $x \Rightarrow x>=2$), [1, 3, 1, 4]) = true となる。